

●**単独アクティビティ集** … プログラムの中のアクティビティと入れかえて実施したり、さらに加えて実施したり、ねらいに合わせて組み込むことができます。



車椅子体験

所要時間 60分

活動のねらい (ポイント)

車椅子体験を通して、障害のある人や介助する人の置かれている状況について理解するとともに、バリアフリー社会の実現に向けて大切なことは何か考える。

準備するもの

車椅子、車椅子体験用コース案内図

進め方 (展開例)

時間	学習の流れ (活動・内容)	留意事項	備考 (資料等)
15分	①全体で車椅子の特性や介助方法について知る。	・安全に車椅子体験ができるよう、事前に活動場所の安全確認を行う。また、ファシリテーター自身が事前に車椅子の安全で正しい扱い方等を習得しておく。	・車椅子 車椅子を扱う職員人数・参加者人数・車椅子の数をあらかじめ調整し、準備しておく。
10分	②2～3人1組で行い、車椅子に乗る人・介助する人を決め、1人で車椅子を動かしてみたり、介助の人に押ししてもらったりする。(途中で交替する。)	・慣れない動作が多いので、怪我のないよう取り組むことを参加者と確認する。	
20分	③実際に建物内を車椅子で移動したり、動作を試したりする。 ・段差 ・出入口 ・スロープの昇降 ・エレベーター ・自動販売機の商品の購入 等	・室内や建物敷地内での実施とする。	・車椅子体験用コース案内図
15分	④体験して感じたことについて意見を交換する。 ⑤まとめ ・ファシリテーターの話を聞く。	・日常生活でどのようなことに気をつけると車椅子を使用する人に優しい街になるか考えるよう助言する。 ・活動のねらい (ポイント) をおさえる。	
<p>・車椅子体験をとおして、日ごろなにげなく利用したり通行したりしているところに多くの工夫や配慮がなされていることに気づく。 ・移動や施設利用等で、日頃危険性を感じていないような場所が危険だったり、日頃移動できている場所が、移動できなかったりすることに気づく。</p>			

学習を深めるために

●できるだけ多くの車椅子が用意できるとよい。車椅子の貸し出しについては、各市町村社会福祉協議会等に問い合わせる。

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会 URL <http://www.knsyk.jp/>

・車椅子体験が掲載 (紹介) されているホームページ

URL <http://www.sagamiharashishakyo.or.jp/index.html>

社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会



「1 歩前へ進め」

所要時間 30 分

活動のねらい（ポイント）

自分とは異なる立場に立って物事を考えることにより、社会における不平等や社会的マイノリティによって生じるかもしれない人権侵害について考えを深める。

準備するもの

役割カード

進め方（展開例）

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料等）
2 分	① 1 枚ずつ役割カードを受け取り確認する。	・参加者同士がカードに書かれている役割を他の人に見せないように伝える。	・資料「役割カード（例）」 ⇒ P.64
1 分	② スタートラインに 1 列に並ぶ。	・参加者が役割のイメージをもちやすいように次のように問いかける。ただし、参加者に答えを思い浮かべるだけで答える必要がないことを伝える。	
15 分	問いかけ（例） 「あなたはどのようなところに住んでいますか？」「家族はいますか？」 「昨日は一日どのように過ごしましたか？」など		
	③ 質問に対して、参加者はカードに書かれている人物になったつもりで考え、「そのとおりだ。」と思ったら 1 歩前に進む。（数問繰り返す。）	・うまくイメージができない場合もできる範囲で考えればよいことを伝える。 ・参加者に考える時間を与えるため、間を取って質問する。	
質問（例） <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、安心して夜眠ることができる。 ・わたしは、自分の本名や出身地をいつ、どんな時にも正直に伝えることができる。 ・わたしは、好きな人と恋愛したり結婚したりすることができる。 ・わたしは、必要なことを学ぶ機会がある。 ・わたしは、民主的な方法で私たちの代表者を選ぶことができる。 ・わたしは、自分がやりたい仕事を選ぶことができる。 ・わたしは、最低限の衣・食・住が保障された生活を送ることができる。 ・わたしは、自分が幸せだと思う。 			

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料等）
10分	<p>④終了したら、全員でそれぞれが立っている位置を確認する。</p> <p>⑤自分の役割を明かしながら、ふりかえりを行う。</p>		
	<p>ふりかえりの観点（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前に進んだ、または進めなかった理由は何か、その時にどのように感じていたか。 ・どんどん前進した人は、進めなかった人にどの時点で気づいたか。 ・自分が演じている人物がどのような人であるかの情報は何かから得たか。 ・アクティビティで行ったことは、社会のどのような状況を反映しているか。 ・役割を演じたそれぞれの人が、どのような人権侵害をうけているか。 ・自分の演じている人物の基本的な人権が踏みにじられていると感じたことはあるか。 		
2分	<p>⑥まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の役割を解く。 ・活動のねらい（ポイント）をおさえる。 ・誤解を生じる可能性があるため役割カードは終了後に必ず回収する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人の人権が守られるように、社会全体が義務や責任を果たさなければいけないことについて示唆する。 		

<参考資料「人権教育のためのコンパス〔羅針盤〕学校教育・生涯学習で使える総合マニュアル」
 企画：ヨーロッパ評議会 翻訳：福田 弘 発行：明石書店（2006年）>

学習を深めるために

- 役割カードはサンプルとして提示するものに過ぎません。役割カードは参加者の経験により身近に反映するものであればあるほど、より効果的なものになります。

役割カード (例)

<p>あなたは失業中のシングルマザーです。</p>	<p>あなたは大手都市銀行の支店長の娘で大学では経済学を専攻しています。</p>
<p>あなたは不法滞在している外国人です。</p>	<p>あなたは会社を定年退職した 70 歳の独身男性です。</p>
<p>あなたは HIV 陽性の 23 歳の女子大学生です。</p>	<p>あなたは過疎化が進む村で農業をしている青年です。</p>
<p>あなたは 40 歳のホモセクシュアルです。</p>	<p>あなたは事業がうまくいっている貿易会社の社長です。</p>
<p>あなたは 27 歳のホームレスの男性です。</p>	<p>あなたは麻薬取締法で逮捕された人の妹です。</p>
<p>あなたは車椅子でしか移動ができない下肢に障害のある 55 歳の女性です。</p>	<p>あなたは被差別部落出身の公立小学校の教師です。</p>

※誤解を生じる可能性があるため、役割カードは終了後に必ず回収する。

3

「みんなでウハウハ」

所要時間 20分

活動のねらい (ポイント)

少数派になるとどのような気持ちになるかを体験することにより、少数派の気持ちに気づく。

準備するもの

指示カード

進め方 (展開例)

時間	学習の流れ (活動・内容)	留意事項	備考 (資料等)
5分	①指示カードを受け取り、内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 指示カードの中には、全く違う動作をするよう指示された少数派カードが1割程度入っているように工夫する。 グループ全員の姿がお互いに見えるようにする。 カードの内容を他の人にわからないようにして確認するよう伝える。 	・指示カード
2分	②指示カードに示された動作をファシリテーターの合図で、声を出さずに行う。	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーターの合図があるまで続けるよう指示する。 	
5分	③グループ内でふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で起こり得る、似たような状況等を考えるよう助言する。 	
<ul style="list-style-type: none"> 人と違うことをすることは、勇気がいることに気づく。 多数派になったときに、少数派にどのような視線を送っていたかについて考える。 			
8分	④グループで出た意見を全体に発表し、共有する。 ⑤まとめ ・ファシリテーターの話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 活動のねらい (ポイント) をおさえる。 	

<参考資料「人権教育ファシリテーター・ハンドブック」角田尚子・ERIC 国際理解教育センター著 (2000年発行) >

学習を深めるために

- ・参加者の人数によって全員で行ったり、何グループかに分けたりして、効果的に取り組めるよう配慮する。
- ・指示カードの内容は、参加対象に応じてアレンジする。
- ・多数派から少数派になったり、少数派から多数派になったりするように指示カードを工夫する。

◆ 「みんなでウハウハ」用カード

<ファシリテーターのカードの使い方>

- ①【準備】指示カードで少数派の調整を行う。
- ②【実施】指示カードの「ウハウハ」の部分を上から順に大きな声で言う。
- ③【実施】参加者の動作を確認して次の「ンゴンゴ」を言う。

指示カード①	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴンゴ	その場でぴよんぴよん飛び跳ねる
クスクス	象のまねをして歩く
シラシラ	自分の耳をふさぐ
トント	自分の左肩をたたく
ムズムズ	その場でしゃがみこむ

指示カード②	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴンゴ	両手を上に伸ばす
クスクス	直立して動かない
シラシラ	自分の耳をふさぐ
トント	自分の左肩をたたく
ムズムズ	その場でしゃがみこむ

指示カード③	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴンゴ	両手を上に伸ばす
クスクス	直立して動かない
シラシラ	笑顔でスキップする
トント	自分の左肩をたたく
ムズムズ	その場でしゃがみこむ

指示カード④	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴンゴ	両手を上に伸ばす
クスクス	直立して動かない
シラシラ	自分の耳をふさぐ
トント	自分の左肩をたたく
ムズムズ	その場でしゃがみこむ

太枠の線に沿って切り取って使用してください。

<指示カードの少数派の順番>

- 1回目「ウハウハ」…少数派はなし（みんな同じ動作になっている。）
 - 2回目「ンゴongo」…少数派は指示カード①（その場でぴよんぴよん飛び跳ねる。）
 - 3回目「クスクス」…少数派は指示カード①（象のまねをして歩く。）
 - 4回目「シラシラ」…少数派は指示カード③（笑顔でスキップをする。）
 - 5回目「トントン」…少数派は指示カード⑥（その場で激しく足踏みをする。）
 - 6回目「ムズムズ」…少数派は指示カード⑦（象のまねをして歩く。）
- ※指示カード②④⑧は一度も少数派にならない多数派指示カードになっています。

指示カード⑤	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴongo	両手を上に伸ばす
クスクス	直立して動かない
シラシラ	自分の耳をふさぐ
トントン	自分の左肩をたたく
ムズムズ	その場でしゃがみこむ

指示カード⑥	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴongo	両手を上に伸ばす
クスクス	直立して動かない
シラシラ	自分の耳をふさぐ
トントン	その場で激しく足踏みをする
ムズムズ	その場でしゃがみこむ

指示カード⑦	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴongo	両手を上に伸ばす
クスクス	直立して動かない
シラシラ	自分の耳をふさぐ
トントン	自分の左肩をたたく
ムズムズ	象のまねをして歩く

指示カード⑧	
ウハウハ	その場でしゃがみこむ
ンゴongo	両手を上に伸ばす
クスクス	直立して動かない
シラシラ	自分の耳をふさぐ
トントン	自分の左肩をたたく
ムズムズ	その場でしゃがみこむ